

2025 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【英語】

前回よりも出題範囲が広がり、かつ問題のグレードが上がっているため、実力の差がより一層出やすい問題となっています。今後の英語学習の基本となる文法内容が多く出題されているので、この時期にしっかりと理解しておきたいところです。

1 適語補充問題

日本語の意味に合わせた英文完成で、特に主語が三人称単数の場合と三人称複数の場合、一般動詞の形の使い分けに注意しましょう。例えば、③には主語が三人称単数の Emily なので三単現形の studies が入りますが、逆に⑤には主語が Chickens と三人称複数なので、原形の wake [get] が入ります。その他には、④には「熱心に」に当たる副詞の hard が入り、⑨・⑩には「～出身だ」の意味になる be [come] from から、⑨には is [comes]、⑩には from が入ります。全体的にはこれといった難問はないので、全問正解するのもさほど難しくないと考えられます。

2 対話文完成問題

対話文形式による適語補充で、A と B の対話を注意して読み、空所に入る語を慎重に見極めることが大切です。B の答えの文から、③に Who、⑤に Whose、⑦、⑧に How much が入ると判断できます。⑩に入る数字ですが、ラグビーのルールを知っている受験者であれば、すぐに fifteen 「15」だとわかりますが、そうでない受験者も B の答えの and の後の「2つのチームが 30 人 [15 人対 15 人] で試合をする」を読めば、fifteen だと判断できると思います。

3 書き換え問題

1 の主語が単数の文を複数に書き換える問題や、2 の主語が複数の文を単数に書き換える問題は、単数形、複数形の文を学習するのに、欠かせない基本問題なので、確実にできるようにしておきましょう。3 は some を含む文を否定文にするときは any にするという典型的な問題です。4・5 は、下線部の語句の内容によってどの疑問詞で始まる疑問文になるのかのパターンをつかむ必要があります。4 は math and science 「数学と理科」が下線部なので、What subject(s) で始まる疑問文になり、5 は eight 「8」が下線部なので、How many で始まる疑問文になります。

4 連立完成問題

2・4はbe動詞の文 ⇔ 一般動詞の文の書き換え問題で、よく出題される問題です。2は副詞well「上手に」を形容詞good「上手な」にする点、4は三人称単数の一般動詞hasを用いる点がそれぞれポイントになります。3はやや難問で、fly [flies]]to～「飛行機で～へ [～へ飛んで] 行く」を、go [goes] to ～by plane に書き換えることを知っているかどうかポイントになります。5はJanuary「1月」を知っていれば、後の空所にfirst「1番目 [最初] の」が入ると判断できます。

5 整序英作文問題

1はkeep a diary「日記をつける」と熟語の知識を問う問題で、2はfrom A to B「AからBまで」と前置詞の用法を問う問題です。3は<no+複数名詞>で、「～が全くない」と強い否定を表す文になります。4は、What kind(s) of ～「どんな種類の～」で始まる疑問文にします。5は「だれの本」の部分をWhose bookで始めて、その後は疑問文の形does he readがきて、最後に文末のessay「課題作文」を伴って、for his essay「彼の課題作文のために」がくることがポイントです。

6 語い問題 (適語選択)

オのlighthouse「灯台」はやや難しい語です。残りの4つは、この時期に、少なくとも意味だけは知っていて欲しい語です。

7 会話文読解問題

会話形式の物語です。分量が多いので、読解のスピードが求められます。また、文中には、この時期の中1の英語レベルではやや難しい単語や表現もありますが、これまでに学習した知識を生かして、じっくり読んで解答していきたいところです。問1の日本語訳は、take A for a walk「Aを散歩に連れて行く」の訳がポイントになります。このwalkは「歩く」という意味の動詞ではなく、「散歩、歩くこと」という意味の名詞なので、注意しましょう。また、助動詞can～「～することができる」の訳も重要です。問7の適語選択(組み合わせ)は下線部(7)の前にfeeling(s)「感情」という語があるので、空所A・Bにはそれぞれ、「泣く」、「ほほ笑む[笑う]」と感情を表す動詞が入ると判断します。問9の整序英作文は、並べ替えた文の日本語の意味が与えられていないので、難問と言えます。したがって、どのような日本語の意味になるかの見当をつけて並べ替える必要があります。

2025 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【数学】

基本的な計算問題から文字式・方程式を中心とした応用問題まで、幅広い難易度の出題となっています。全体を通して奇抜な解法を要する問題は少なく、問題の条件を正確に読み取り、丁寧に処理をしていくことが求められています。これから学ぶ数学の基礎となる文字式・方程式のより深い知識を得るため、繰り返し復習をしてくれることを願っています。

1 計算問題（正負の数の計算・文字式の計算・方程式）

文字式をふくまない数・ふくむ式の計算を1問ずつと、方程式を2問出題しました。すべて基本的な内容であるため、正確に解き進めてほしい問題です。(3)・(4)では小数や分数を解消するために両辺に同じ数をかけたり割ったりすることに慣れてほしいですが、それを(1)・(2)のような方程式ではない計算に持ちこまないようにしましょう。

2 小問集合（式の値・図形と方程式・文字式の表し方・三角形の面積比）

(1)は式の値を求める問題です。代入した後も落ち着いて計算しましょう。(2)の図形の問題では、各辺の長さが等しいという正方形の性質を利用します。点Cと点Eを結ぶ補助線が必要な問題でしたので、難しく感じた人も多いでしょう。(3)は方程式の文章題で、頻出の内容になります。(4)は三角形の面積に関する問題です。図形の知識が求められ、(2)と同様に点Aと点Cを結ぶ補助線をひくことができれば、解答への道筋が立てられたのではないのでしょうか。

3 方程式の利用（人数）、倍数

方程式の文章題です。学年別の生徒数や増減を、学期ごとに考えます。問題の条件がやや複雑に感じた場合、(1)で与えられた表は条件を整理するために非常に効果的です。表が与えられていない類題でも自力でたて・横の表を書けるように、ぜひ積極的に活用してみてください。

4 速さと割合（給水）

給水管と水そうを題材とした問題で、割合の考え方が求められています。必須ではありませんが、空の水そうをいっぱいにする水の量を文字で置くことで、式を立てるのがスムーズになると考えています。

5 規則性 (カードの数の増加量)

絶対値の和と規則性に関する問題です。今回の試験の中で一番解き慣れていない問題だったかもしれません。見慣れない問題や複雑な問題こそ、具体的に試してみることが重要となります。いくつかの数を試していく中で、規則性が見えてきたり、こうなるのではないかといった「予想」を立てられたりするかもしれません。

6 平面図形と速さの融合問題 (正三角形・直角三角形)

円の周上を移動する動点と三角形に関する問題です。点の動きと、その時々三角形を正確に図示できるかが求められています。与えられた図に書き込むよりも、自ら図をかき直した方が整理しやすいでしょう。三角形 OPR が直角三角形になる 6 回をていねいに追うことができれば解き進めることが可能でしょうが、それでも(3)は正答率が低くなると予想しています。

2025 第2回駿台学力テスト 中1 出題のねらい【国語】

夏休み終盤に実施のテストということで、これまでの学習成果を総合的に判定し今後の学習課題を明確化するために、漢字・文法などの知識問題から、論説文・小説文の読解問題まで、幅広い領域の問題を出題しました。論説文・小説文ともに、深く読み込まないと内容が取りにくい文章を使用したため、文章の論旨や場面の展開などをしっかりと読み取り、理解を深めてください。

㊦ 漢字の読み書き

日常的に使用する言葉の中から、書いて、読めておくべき漢字を出題しました。(3)「固有」は「個有」と誤らないように気をつけましょう。(2)「反らす」など漢字を訓読みする場合の言葉の語彙も増やしておきたいところです。(1)「察して」や(5)「赴いた」はやや難しい表現かもしれませんが、これを機に覚えておきましょう。また、(4)の「針小棒大」など四字熟語は入試頻出ですので、中一のうちから対策しておきましょう。

㊦ 論説文の読解…………… 岡根谷実里『世界の食卓から社会が見える』

「卵」という日常的な食材をきっかけに社会や環境問題について語った、視野を広げられる文章を採り上げました。専門用語や普段使わない言葉が多用されていて、本文を難しく感じた人もいますが、読書などによってこのような文章に今のうちから慣れておきましょう。抜き出しの問題を多く出題しましたが、指定されている条件に合っている箇所を見つけて書けているかを確認することがねらいとなります。

問五の記述問題では、「本文中の言葉を使って」という指示を守っていない答えや、設問条件の文として当てはまる形になっていない答えに気をつけましょう。設問文をしっかりと読むことを心がけましょう。**問三**は慣用表現の知識を問うています。慣用句やことわざなどの知識も、読書によって培われるものです。**問十一**は本文で取り上げている内容について整理してまとめている表を用いて、その内容の正誤を判断させる問題で、最近の入試でよく取り入れられている形式の問題です。このような形式の問題にも慣れておきましょう。

☐ 小説文の読解…………… 瀧羽麻子『さよなら校長先生』

小学三年生の少女が主人公の現代の小説からの出題です。子供同士の人間関係が描かれているので、中一でも自身の体験と重ね合わせて共感しやすい内容だったと思います。しかし、複雑な感情の揺れが丁寧に描かれているため、登場人物の心情を正しく理解して読解する必要があります。

問六の記述問題では傍線部の直後の内容を書いただけの答えにならないようにしましょう。傍線部「駆け寄ろうとして、足がとまった」の「駆け寄ろうとして」についても考えなくてはなりません。人物の心情を考える際には、その人物の行動の背景を正しく理解することが大切です。

☐ 文法

文節を分ける問題です。文節分けは「ね」で分けることで不自然にならない形、と覚えているでしょうが、それだけを頼りにしていると間違えてしまいがちなものを出题しました。文節は一つの自立語かそれに付属語がついたものなので、文節の数＝自立語の数、ということも覚えておきましょう。(3)の「こと」の前で文節を切ること、(4)の「ような」の前で文節を切ってはいけないこと、(5)の「ため」の前で文節を切ることに注意です。文節分けの問題は中一の最初に習うものですが、公立高校を中心に入試でも出題されます。